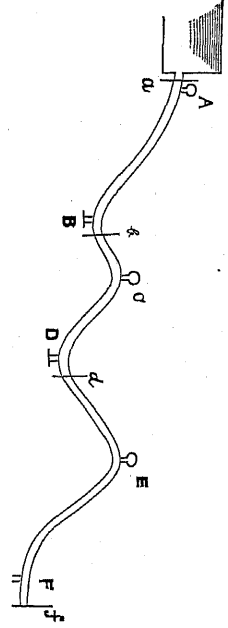


あり。

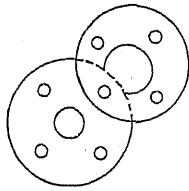
鉄筋混凝土を以て導水管を作ることあり第七十九圖は其一例なり其製作中に龜裂を生ずることある故に注意を要す水壓の大なるところに於ては未だ實用されず。

鐵管注水

初めて水を水管中へ注入するときは先づ開閉弁りを閉ぢ土吐Bを開き開閉弁aを少しく開きaの間の管を掃除して後にBを閉づべし然る後は空氣注水終了すAに空氣弁なきときはaの間の空氣はaの開閉弁より直に水溜中に吹出づるに至るべし次にdを閉ぢDを開きbの弁を少し開きdまで通水し掃除出來の後はDを閉づべし若しCの空



第八十圖

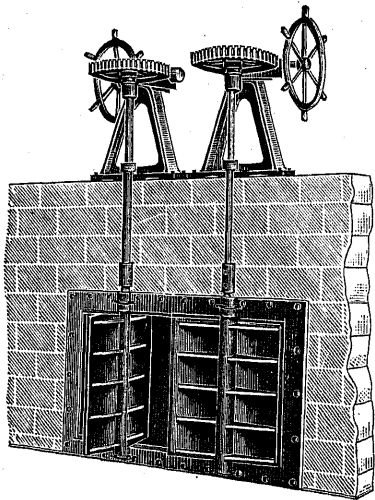


氣弁穴が小にして澤山の空氣を出すこと能はざれば弁の下の接合「フランジ」の「ボルト」を取除き一本のみによりて之を取付け弁を他方に廻し置くこと圖の如くなし將に水が噴き出せんとするに當り手早く弁を廻轉さして取付くべし。

以下の水管注水之に準ずべし尤も場合によりてはd若はf迄も一度に注水することもあり斯くの如く或る區域を限りて水を通したる後管の漏水を檢查するを要す先づa及びbを閉ぢ置きaを極めて少しく開くべし管に漏水あらば水はaを通過するの音響を生ず開閉弁に耳を當れば容易に此音響を聞き得べしb以下之に準ず。

水路取入口水門

第八十一圖



水門の最も簡單なるは角落しと稱

鐵管注水